

テーマ①「子育てしやすい環境づくり」

方向性（目指す姿）

- ※以下の対象について検討を重ねた結果、子育て世代に着目することとした。
- 子ども（小学生～中学生）が地域への愛着を持てるまち
- 高校生・大学生：利便性・ファッション性がありリーズナブルなまち
- 子育て世代（20代～40代）が子育てしやすいまち
安全で安心に暮らせて、近所の繋がりが深く、教育の質が高く、介護の充実したまち

調査審議の経過

1. 子育て世代の意向把握

子育て世代が困っていること・行政・地域に期待すること

川崎市全体	麻生区
<p>■「次世代育成支援に関するニーズ調査」 （平成21年3月）就学前児童 3,440 票、就学児童 2,953 票</p> <p>■「こどもと一緒にコンサート」でのアンケート結果（平成25年2月）72票</p>	
<p>■子育てで困っていること【上位3位】</p> <p>第1位:安心して遊べる場所がない 第2位:交通機関や建物がバリアフリーではない 第3位:子どもの犯罪被害</p>	<p>■子育てで困っていること【上位3位】</p> <p>第1位:保育園がいっぱいで入所できない 第2位:いざというときに子どもを預かってくれる人がいない/保育料や教育費の経済的負担が大きい</p>
<p>■子育てを楽しく行うためのサービス【就学前児童】上位3位</p> <p>第1位:子どもを遊ばせる場や機会 第2位:親のリフレッシュの場や機会の提供 第3位:子育て中の親同士の仲間づくり</p>	<p>■行政に期待すること【上位3位】</p> <p>第1位:近くで遊べる公園や広場の充実 第2位:子どもと遊べるスポーツ・芸術・文化各施設や活動の充実 第3位:保育園の受入定数の拡大</p>

子育てしやすい環境づくりのテーマ

- ①対象：未就学児の保護者
- ②テーマ：「子育て世代を支援する多様な保育」
- ③方向性：保育所外の自主的な保育活動の支援

2. 子育て支援団体（6件）及び行政へのヒアリング

- 子育て団体 ①地域子育て支援センター ②子育て自主グループ ③子育てサロン など
- 行政 ①こども支援室 ②児童家庭課 ③生涯学習支援課

提言の方向性

【アンケート・ヒアリングから抽出した課題】

- ①親子で遊び、学べる場の不足
- ②いざという時に預ける場所の不足
- ③子育て情報の錯綜（母親の不安感）
- ④気軽に子育て相談できる場所の不足
- ⑤保育サービスの地域間格差
- ⑥子育てと仕事の両立
- ⑦保育人材の不足
- ⑧児童虐待等支援の必要な児童への対応
- ⑨保育活動団体の課題（活動場所不足等）

スローガン
「子育てするなら麻生区で」
キーワード
「安心・楽しい・助かる」

- 1. 左記多くの課題解決につながる「子育てフェスタ」開催を提言に
- 2. その他課題解決に繋がる提言の検討（親子で遊べる場所等）

テーマ②「芸術・文化のまちづくり」

方向性（目指す姿）

- 芸術・文化のまち
芸術・文化施策が継続的に取り組まれ、地域の芸術家や団体の広報を連携して点から面として情報発信を図るネットワークを構築し、子どもから大人まで楽しめる芸術・文化のまち
- 芸術・文化を通じた若者・子どもの育成
芸術・文化の実習体験や、地域での行事・集まりに若者・子どもが参加できる機会のあるまち

調査審議の経過

1. 提言の方向性

- 1) 第3期区民会議提言内容のフォローアップ
 - ①文化担当官の設置
 - ②（仮称）麻生文化会議の設置
 - ③川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用
- 2) 「若者・・・」部会に沿う新たなテーマを設定・検討

2. 第3期区民会議提言内容のフォローアップ等のためのヒアリング

- 1) 関係団体
 - ※麻生区をフィールドとして活動している団体等が持つ課題 や感じている問題点等を把握し整理
 - ※ヒアリング先：計11箇所
 - ①麻生区文化協会 ②日本オペラ振興会 ③民藝
 - ④麻生フィルハーモニー ⑤麻生合唱団 ⑥区内大学 など
- 2) 行政
 - ※①のヒアリング結果や第3期提言を踏まえて、「市の芸術・文化行政」の考え方を把握
 - ※ヒアリング先
 - ①市民文化室 ②川崎市文化財団 ③麻生区役所
 - ④麻生市民館
- 3) ヒアリング結果まとめた意見については、市民文化室への意見書にまとめる

提言の方向性

- 第3期区民会議提言内容のフォローアップ
 - ①文化担当官・（仮称）麻生文化会議の設置
 - ・設置の目的、担うべき役割、活動の方向性等について検討
 - ②川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用
 - ・ポスター設置等について、申請チャート作成等による周知や、その他情報発信・活性化推進方策の検討
- 第4期区民会議新規提言
 - ① 若者や子どもなど多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり
 - ・あさお子育てフェスタでの芸術関連事業周知、若者参加等
 - ②芸術・文化関連団体の活動上の課題・行政への要望等への対応
 - ・練習場の確保や情報提供等、ヒアリングで得られた課題対応等

それぞれのヒアリング結果から、若者が求める魅力あるまちづくりを進めるために

子育て支援団体、芸術文化団体へのヒアリングを行い、審議を重ねた結果、スローガン「子育てするなら麻生区で」と3つのキーワード「安心・楽しい・助かる」が浮かび上がった。これらの言葉を形にするための方法として子育てフェスタを開催する。

あさお子育てフェスタの開催

テーマ 子育てするなら麻生区で～安心・楽しい・助かる～

日時 平成26年4月13日（日）

場所 麻生区役所第1～7会議室、ロビー、区役所前広場、保健所予防接種ホール、レストランあさお

内容（予定）

- 区内子育て団体の紹介ブース（安心・助かる）
- 育児相談室、育児情報コーナー（安心・助かる）
- リサイクルバザー（楽しい・助かる）
- 各種遊びの広場 ミニコンサート（楽しい・助かる）など

このフェスタに参加することで、キーワードの「安心・楽しい・助かる」を体験し、交流し、情報を発信・収集することのできる一つの機会を提供する。

また、参加者に心癒す機会を提供するために、芸術文化の要素も取り入れながら、しんゆり・芸術のまちらしいフェスタを企画する。学生等の若者が主体的に参加できるための仕掛けも念頭に進めていく。

今後の調査審議の進め方

「第1回あさお子育てフェスタ」モデル事業

- 1) 子育て支援団体等にフェスタへの協力要請（～12月）
- 2) 協力団体への説明会開催（1月中）
- 3) 子育てフェスタの企画検討（～4月）
- 4) 子育てフェスタの開催（4月13日）
- 5) 子育てフェスタ実施後の検証（～5月）

子育て/芸術・文化提言

- 1) 提言検討（～H26.3月）
- ①子育て
- ②芸術・文化
- 2) 提言作成（～H26.4月）

提言の取りまとめ